

2017年度むかわ町で確認した上位蜃気楼（春期、冬期）

佐藤トモ子

(北海道・東北蜃気楼研究会、知床蜃気楼・幻氷研究会)

1. はじめに

北海道苫小牧市の海岸では、2002年以降、上位蜃気楼が毎年確認されている[1]。2017年には、苫小牧市から約25km東に位置する勇払郡むかわ町から苫小牧市方向に上位蜃気楼を確認した。これまで観測されていた苫小牧市内からだけではなく、対岸に当たるむかわ町からも上位蜃気楼が見られることが明らかとなった。また、これまで確認されていた春期だけではなく、冬期にも上位蜃気楼を確認したのでここに報告する。

春、冬いずれにおいても観測は不定期に双眼鏡を用いた目視確認、及びデジタルカメラでの撮影にて行った。規模の判定には以下の3段階を用いた。

大:肉眼で判別可能

中:双眼鏡を用いれば判別可能

小:双眼鏡を用いても判別は難しいが、

撮影した写真を拡大すれば判別可能

2. 春の上位蜃気楼

表1 春期の観測結果

	4月	5月	6月
上位	1	3*	3*
下位	1	0	1
なし	1	10	9

*微妙なケース含む

表2 上位蜃気楼を確認した日（春）

上位確認日	規模	内容
4月17日	中	水平線の伸び
5月4日	大	タンク群など伸び
5月5日	中	タンカー/水平線の伸び
5月18日	微妙	苫小牧工場やや伸び
6月2日	微妙	稜線変化
6月5日	小	苫小牧工場やや伸び
6月28日	微妙	水平線の伸び



図1 2017/5/4に確認した上位蜃気楼

3. 冬の上位蜃気楼

表3 冬期の観測結果

	12月	1月
上位	5*	1
下位	1	0
なし	0	2

*うち、別方向に下位が見えたのは2回

表4 上位蜃気楼を確認した日（冬）

上位確認日	規模	内容
12月7日	大	石油備蓄基地から火力発電所*
12月9日	中	同上（海上も？）
12月17日	小	備蓄基地
12月18日	中	備蓄基地から発電所
12月21日	小	同上
1月13日	中	同上（海上も？）

*苫東厚真石油備蓄基地、苫東厚真火力発電所

4. 確認した方向

5月4日と12月7日のケースにおいて、上位蜃気楼が見えた方向を図3に示した。5月4日のケース（破線矢印）では、観測地であるむかわ町の海岸から西北西方向、苫小牧市真砂町にある石油精製所のタンク群が伸びあがって見えた。観測場所から変化して見えた対象物までの距離は約24kmであった。

12月7日のケース（点線矢印）では、観測地から西北西方向の苫東厚真火力発電所から、北西の苫東厚真石油備蓄基地の間にある建物や地形が伸びあがって見えた。変化して見えた対象物までの距離は約11~14kmであった。

参 考

[1] 蜃気楼のすべて！P48-P51



図2 2017/12/7に確認した上位蜃気楼



図3 蜃気楼を確認した方向